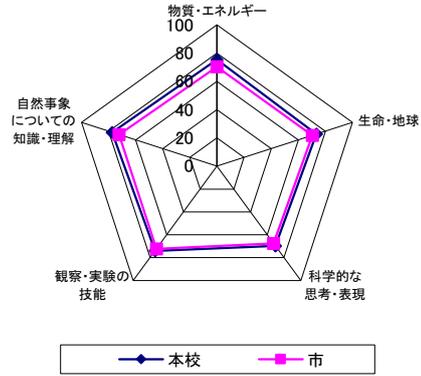


宇都宮市立清原北小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	75.4	70.3	69.0
	生命・地球	73.3	70.4	70.2
観点別	科学的な思考・表現	69.6	67.5	66.4
	観察・実験の技能	74.1	72.3	68.9
	自然事象についての知識・理解	77.4	72.3	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、市の平均を5ポイント上回っている。</p> <p>○物の燃え方では、空気中の気体の体積の割合についての問題の正答率が94%と高かった。</p> <p>●電流のはたらきでは、導線の巻き数を多くすると、電磁石のはたらきが大きくなること、電流の向きを逆にすると電磁石の極が逆になることをきちんと理解できていない児童が見られた。</p> <p>○●水溶液の性質では、水溶液に固体が溶けているかを調べる問題の正答率は89%と高かったが、実験結果とにおいから、水溶液が何であるかを考える問題においての正答率が28%と低かった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電磁石を使用し、電磁石の特徴を復習させる。 実験結果や説明をもとに、筋道を立てて整理していくことで課題が見られるため、理科だけでなくその他の学習、場面でも資料をもとに分析したり、筋道を立てて考えたりする機会を作っていく。 水溶液の性質を復習させ、理解の定着を図る。
生命・地球	<p>平均正答率は、市の平均を3ポイント上回っている。</p> <p>○●動物のからだのつくりとはたらきでは、血液が体の各部分と交換する物質についての問題の正答率が89%と高かった。一方、「はく動」について理解できていない児童が多く見られた。</p> <p>●植物のつくりとはたらきでは、セロリのくきで水が通る部分の断面図を、もとなる図から想像することが容易でない児童が見られた。</p> <p>●植物の発芽と成長では、発芽に必要な条件を実験の様子を示す図から導き出せない児童も見られた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「はく動」について改めて説明し、理解の定着を図る。 似たような問題を解くことで慣れさせていく。 発芽に必要な条件を復習させるとともに、普段から実験の目的を明確にして取り組むよう指導していく。